

# 良好な教育環境の整備に向けて

播磨町教育委員会では、子どもたちの教育環境の整備に向けて、全力をあげて取り組んでいます。子どもたちの健やかな成長のため、住民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ 播磨町教育委員会 教育総務グループ ☎079(435)0533 学校教育グループ ☎079(435)0545

## 4月から、 学校の敷地内は禁煙です

来校園者の皆さまへ  
平成20年4月1日から、幼稚園・小学校・中学校の敷地内は全面禁煙となりますので、禁煙にご協力をお願いします。また運動場や体育館などの学校開放時も敷地内は禁煙です。  
播磨町内の幼稚園、小学校、中学校でこれまで行ってきた分煙や建物内禁煙をさらに進めて、「健康増進法」や「兵庫県受動喫煙防止対策指針」に基づき、敷地内禁煙を実施します。



## 播磨町立中学校給食に関する 基本的な考え方

播磨町立中学校給食に関する基本的な考え方は次の通りです。  
1 給食の実施について  
学校給食法及び播磨町教育委員会における食育推進計画に基づき、成長期にある生徒の心身の発達のため、バランスの取れた栄養豊かな食事を提供する。ことにより、健康の保持増進を図る。とともに、日常生活における望ましい食習慣を養い、食の自己管理能力を身につけることなどを目的として、播磨町立中学校において給食を実施します。  
2 給食の実施対象者について  
食の大切さを理解し、望ましい食習慣を養うことなどの食育

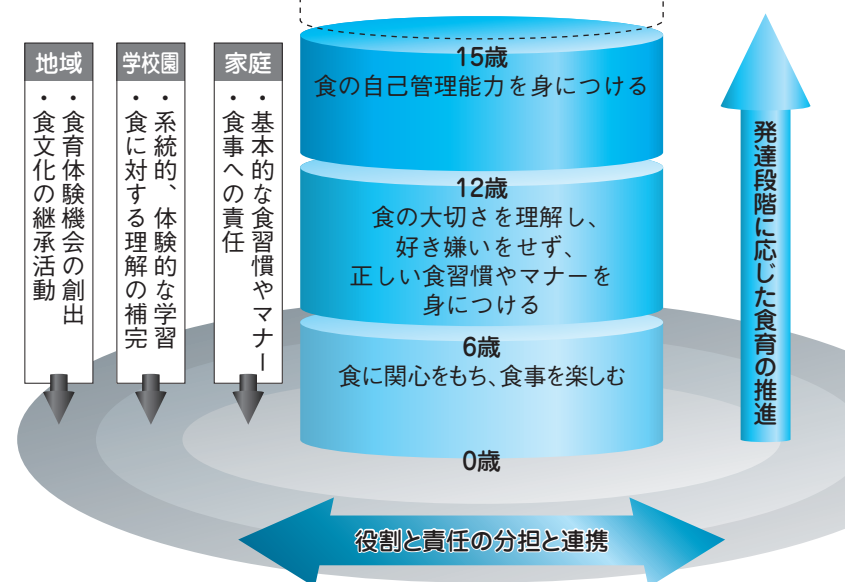


## 播磨町教育委員会における 食育推進計画

食の安全性が大きく問われる時代になり、子どもたちに正しい食習慣の確立と生涯にわたる健康の保持増進の基礎を培うことが重要になってきました。そこで播磨町教育委員会は食育推進計画を策定し、家庭、学校園、地域社会の役割と責任を明確にし、互いに連携しながら発達段階に応じた食育を推進します。

### 播磨町教育委員会における食育推進計画（イメージ図）

- (1) 食に関心をもち、食事を楽しむ
- (2) 食の大切さを理解し、正しい食習慣を身につける
- (3) 食の自己管理能力を身につける



## 旧播磨北小学校区 の弾力的運用は 平成25年度を もって終了します

播磨町立小学校及び中学校における校区外就学に関する取扱要綱中の校区外就学許可基準（播磨北小学校の廃校に伴う弾力的運用）については、次の通りとします。

平成19年3月31日をもって廃止した旧播磨北小学校区内に居住する児童の就学すべき学校についての弾力的運用は、平成25年度をもって終了します。平成26年度入学生（転入生を含む）より、指定校へ就学するものとします。平成25年度において弾力的運用により校区外就学をしている児童については卒業年度までその学校での就学を認めます。

ただし、弾力的運用開始から3年を経過した平成22年度中に児童の通学状況や保護者、地域などの考えなどについて調査をし、教育委員会にて検討を行い、必要があれば校区区審議会を開催するものとします。



4 給食の実施時期などについて  
生徒、保護者及び教職員などに十分な説明を行いながら、将来的にも継続かつ生徒などにとって望ましい中学校給食が実施できるよう、問題点を分析し、検証しながら早期実施に向けて取り組みます。

の観点から、原則として生徒全員を対象とします。  
3 給食の実施方式について  
自校方式（中学校に調理室を設けて給食を提供する方式）、親子方式（中学校の給食を小学校の調理室で調理し、給食を提供する方式）が望ましいと考えますが、敷地の状況、財政的状况などを考慮し、デリバリー方式（献立の作成、食材の選定、調理を町で行い、給食の調理、配送などを業者に委託する方式）を進めます。

1月31日(木)、播磨中学校では2年生が百人一首大会で日頃の練習の成果を競い合いました。当日は厳しい冷え込みとなり、体育館はかなりの寒さでしたが、読み手の先生方が一首・二首：



▲楽しく競技中



と読み始めると、会場は熱気に包まれ始めました。白熱した争奪戦?の末、団体優勝は2年1組で、準優勝は3組でした。個人で多く取った人にも10位まで表彰状が手渡されました。今日は日本の伝統文化に触れ、親ほくを深めた一日となりました。



八百屋さんをしたよ

「うっしょいー!安いよー!」「新鮮でおいしいよー!」元気がっぱいの売り声が響き渡る教室。2年生の子どもたちが参観日に、自分で育てた野菜を売る八百屋さんを開きました。

生活科でいろいろな野菜を育ててみよう、何種類もの種を自分の植木鉢や畑にまいたところ…。赤カブ・白カブ・チンゲン菜・小松菜・ダイコン・ニンジンと、どれもこれも大きく育ち、とうとう八百屋さんをして売ることになったのです。野菜はみごと完売。うれしくてうれしくて得意満面の子どもたち。夕食の野菜料理は、いつもにも増しておいしかったのか…。



▲こんなに立派に育ちました



▲僕たちが育てた「安心・安全野菜」だよ

私たちの自信作ですよ▶

北海道はでっかいぞー!

模試や定期テストが終わり、一段落したところで待ちに待った修学旅行!3年間で1番印象に残るといわれる、一大行事です!朝早くに出発し、飛行機でいざ北海道へ!!飛行機が離陸した瞬間思わず全員が拍手しました(笑)

北海道は雪が何メートルも積もっていました。立派なホテルに泊まらせていただき、スキー

やスノーボードを楽しんだり、ポルトコタンでアイヌの方々から昔の歴史などを教わりました。この4日間は、本当に色々なことを体験し、学ぶことができました。一人ひとりが、かけがえない思い出として残った、最高の修学旅行だったと思います。



▲笑顔全開



おもちゃランドで1年生を招待!

生活科で、おもちゃランドを開く学習をしました。目的は、「1年生を招待して、喜んでもらおう」です。どの子も一生懸命にどんなおもちゃを作ったかいいか考え、いろいろなおもちゃが完成しました。

していました。来てくれた1年生も大喜びでいっぱい遊んでくれました。(子どもたちの感想)

いよいよ本番、そのおもちゃの遊び方を分かりやすく説明し、手作りの賞品を手渡している子どもたち。とっても輝いた顔を

・たくさん来てくれて、とても忙しかったよ。声がかれてしまったよ。  
・「おもしろい」って言うてくれたよ。とってもうれしかったよ。  
・「おもちゃ」って言うてくれたよ。



▲大人気!



▲たくさん遊んでいってね

# きゃんぱすだより

## 心も体もあたたかくなったよ！ 親子で食べよう！「ぜんざいの会」 蓮池幼稚園

「お餅焼けたかな？」「なんかあまーいにおや」「鍋の中には、たっぷりのぜんざい！早速おわんを持って並びます。」

「お母さん、ここに座り」「友達と一緒に食べよう」「...と話も弾みます。笑顔いっぱい！ふれあいいっぱい！でいただきます。年少児は、お汁のおかわり、年中・年長児は、お餅のおかわりもしてお腹も心も満腹。温かくてあまーいぜんざい「おいしかったね」



のびるのびる

ぜんざい、おいしいね



PTA役委員さんお世話ありがとう。

## 心がふくらむ、お話遊び

### 播磨中央保育園

「はっけよいー！のこった！」今日も保育室から元気な声が聞こえてきました。子どもたちは今、劇遊びに夢中になっています。クラス毎にお話を選び、登場人物や動物になって表現したり、友達や保育士とせりふを考えます。3歳児は「ねずみのすもう」を選び、「おもちゃのきりぎりす」や「空箱や新聞紙で白や杵を作りました」「ペタン」「ペタン」「ねずみさんどうぞ」「おじいさん、おばあさん、ありがとう」とお話が進むうちに「おじいさんとおばあさん、お正月のお米がなくなっちゃった」「心配する子どもたち。お話を通して、思いやりの心や優しい気持ちが育ってくれたことをうれしく思いました。「おじいさん、おばあさん、いつまでも元気でいてください」最後のせりふは、ねずみの気持ちと子どもたちの思いが重なっていました。



▲「ねずみのすもう」はどっちが勝つかな？

# あなたに はつたつち

リレーエッセー①⑤

## ありがとう！



永山 妃奈さん (田中)

### 趣味 アウトドア

最近では、お菓子作りなどヒマをみてはしています。

リレーエッセイが私の所へ来たとき「え!!何書こう」と悩みました。今、私のそばで小学校2年生の娘が自由気ままな2歳の弟と仲良く遊ぼうと、悪戦苦闘しながら一生懸命になっている姿を見て、お姉さんになったな〜と思いつつ長女が1歳の時に播磨町に来たことがパッと思い浮かびました。私たち家族がパパの仕事の関係で千葉県からこの播磨町に移り住んでから6年半の月日がたとうとしていきます。初めはカーナビが無いと我が家まで帰れないくらい分からず戸惑うばかりでした。そして何よりも一番の驚きは覚悟していたけれど話す言葉の違いでした。初めてスーパ

ーに行った時のおばちゃんたちの話のやりとりが当時の私にインパクトが強く、「ワァ〜テレビの中の人たちと一緒にだ〜」と立ち止まって見とれていながらも娘の話す言葉もだんだん変わっていくのかな〜と思っていました。そして娘が幼稚園に入園してから一気に変わりました。最初に覚えてきた言葉は「アカン」です。いきなり「アカン」と言われた時は私もパパもビックリでした。

「エッ!!今、何て言ったの?」って聞き直してしまいました。そんなこんなで娘が覚えてそれをまたパパがマネしてって感じて娘が先生みたいになっっていました。そして今では「ウソヤン」「そんなんアカンで〜」「ほんまか〜」なんて言い合います。(長男もいい感じで話しますよ!)そして一番大事なことは今、こんなに楽しく過ごせるのも右も左も分からなかった私たち家族を助けてくれた人たちがこの播磨町にたくさん居ることです。そんな親切な人たちが居る住み良い播磨町、最高です。ここで私のそばで遊んでいた2人がそろそろ眠いようで、私のそばで寝ようと2人で私のヒザの取り合いが始まりました。このパターンでいくと弟の足蹴りで娘は負けて泣きながら寝ること...。またまたチビ助の長男とお姉さんになったなと言ってもやきもち焼きの娘、第二の故郷播磨町で子育てがんばらっしゃあ〜!



このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画グループ

### 古宮Zクラブ

会長 星野 健吾さん

#### 活動をはじめたきっかけとメンバー構成

アルファベットの最後の文字は「Z」ということで、古宮の最後の砦(とりで)という意味づけで名付けた会です。

古宮地区の青年団(現在は組織していない)、消防団、獅子保存会を経験した者が、自治会役員を担うであろう年齢までの中年期に、地域に貢献できる活動を行う目的で発足させたものです。おおむね40〜60歳の中年有志25人前後で構成しています。

#### 活動の内容

現在の主な活動は、漁協背後地にある緑地帯の除草・散水管理です。以前は、本会主催の献血運動を隔年で3回実施したこともあるのですが、熟年化に伴い終息させました。

また、地域のゴミステーションならびに主要な施設前に花プランターを設置して、年に4回程度の植え替えを行ったり、盆踊りや秋祭りでの模擬店を出店したりして、自治会からの協力依頼にも積極的に応じて活動をしています。



▲力まず惜しまず活動しています